



森林保全活動と持続可能な社会「SDBg」

- ★持続可能な社会開発(SDBg)とは
持続可能な社会とは、「持続可能な開発が行われ持続の可能性を持った社会」及び「地球環境や自然環境が適切に保全され、将来世代が必要なものを損なわずに、現世代の要求も満たす開発が行われる社会」と定義されているようです。
- ★森林は、水を育み、気候変動を緩和する、山の災害を防止するなど多面的機能を有しており、この機能の発揮がSDBgに貢献していると云われる。即ち、山の保全作業はこのような多面的機能の発揮をし易くすることに貢献することになります。
- ★保全くらぶの作業も、特に「SDBg」を意識しているわけでは無いが、SDBgに貢献していることに

なります。つまりは過去から現在に至る保全活動は、樹木を植え、除草や間伐を適宜実施することで樹木の健全な成長を助けることになり、SDBgに貢献し、環境保全に役立っているわけです。

- ★これまでの活動で木を植える作業はほぼ終了と思われるので作業の中心は、間伐や枝払いと除草を中心とする林床の整備や歩行に支障になる樹木の整理になると思われ、引続き頑張っていきたい。
- ★何れにしても、山の樹木は樹木本来の「姿」に育成すれば水の涵養、気候変動を緩和し、山の災害を防止する機能を発揮して呉れることになり、結果としてSDBgに貢献することになるのでこれを念頭に活動に取り組むことになります。

「助川山市民の森」保全活動

保全項目	実施日	作業内容	作業の様子
景観維持作業	5月2日 (景観)	<ul style="list-style-type: none"> ・くぬぎ広場管理道路沿え枯れ松伐採作業。これで管理道路沿えの残りの松は1本でけとなった。 ・処理後、頂上のツツジの様子と海の見える丘のフェリトウの状況を見てきた。ツツジは終盤でフェリトウはこれからの状況。 	
	5月9日 (野草)	<ul style="list-style-type: none"> ・くぬぎ広場沿えの赤松処理作業の最後の1本の伐採作業を実施し、伐採後にはモミジを植える計画。 ・伐採後の処理作業を考慮し、松は管理道路側に倒し、軽トラに積める長さに切断し、森の教室手前道路脇に廃棄した。 	
除草作業	5月16日 (野草)	<ul style="list-style-type: none"> ・「どんぐりの森」植樹地の除草並びに間伐作業を実施。植樹した樹木の成長に合わせ間伐を行い、今回で2回目。 ・植樹は苗木が余った時などに植えたものもあり、植えた時期はマチマチだが成長に合わせ間伐も実施。 	
	6月4日 (定例)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理道路、ヤシャブシトレール入口付近の植樹地の除草作業を実施した。 ・作業の場所は、管理道路から急な坂を降りるような斜面で高齢化が進むくらぶ員には神経を使つての作業となった。 	
	6月11日 (景観)	<ul style="list-style-type: none"> ・堂平ルートの除草作業の1回目実施。11日は森の教室から野鳥の池と池から少し先までの道路の草刈りを実施。 ・まだ草が伸びきっていないので割と作業は円滑に進んだ。次回以降で残りの除草作業を実施の予定。 	

タケノコ採り

- ★6月7日(金)中里地区にお邪魔し兼ねて予定していたタケノコ採りを実施した。例年、平井さんにお世話戴き、中里の梶山さんの案内でタケノコ取りを楽しんだ。
- ★タケノコも種類があり、今は和竹のタケノコの時期とこのことで50cm程度だった。



林業少年団ハイク

- ★6月9日(日)林業少年団団員6名に父兄8名、指導員4名、局員1名の計19名で助川山ハイキングを実施した。
- ★当日は、曇りで暑くなく風もあり一同ハイキングを楽しんだ。



エコフェス参加

- ★令和6年の日立市エコフェスは、7月20日(土)昨年と同じシビックセンタで開催される。
- ★「助川山保全くらぶ」は昨年同様に参加を申し込んでいます。くらぶ員多数の参加をお願いします。
- ★展示品の搬入は、前日の19日(金)、くらぶ員の協力で円滑に進めたいと考えていますのでくらぶ員のご協力を宜しくお願いします。
- ★エコフェス当日もくらぶ員の参加をお願いします。

